



2013年4月5日

各 位

会 社 名 アステラス製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 畑中 好彦
コード番号 4503
(URL <http://www.astellas.com/jp>)
東 証 ・ 大 証 (各 第 一 部)
決 算 期 3月
問 合 せ 先 広報部長 河村 真
Tel : (0 3) 3 2 4 4 - 3 2 0 1

アステラス製薬：米国アンブレックス社とのがん領域における 次世代 ADC 技術に関する提携のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、米国時間4月4日に、米国アンブレックス社（英名：Ambrx Inc.）と、新規の抗体-薬物複合体（ADC）の創製と開発に関する提携契約を締結しましたので、お知らせします。

ADC は癌細胞表面の抗原に結合する抗体に薬物を結合させたものです。薬物を標的とするがん細胞に選択的に届けることができ、細胞内で薬物を放出させることで、がん細胞を死滅させます。アンブレックス社は、独自のリンカーと薬物を導入するとともに、薬物を抗体の特定の部位に結合させる技術を用いて、ADC を進化させました。前臨床試験において、アンブレックス社の ADC は、薬物と抗体の結合部位が特定できない従来の ADC と比較して、高い有効性と広い治療域を示しています。

アステラス製薬は、がん領域における ADC を全世界で開発・商業化する権利を取得します。本契約締結に伴い、アステラス製薬はアンブレックス社に対して、契約締結時に15百万ドルの一時金を支払うとともに、一定数のがん領域における標的を対象として、ADC の開発と売上の達成に応じて最大で285百万ドルの研究・開発・販売マイルストーンを支払います。また、ADC の開発に成功し発売した場合は、正味売上に対するロイヤルティを支払います。マイルストーンの一部は、ロイヤルティと同様、商業化に成功した場合のみ発生します。

その他の提携条件は、現時点で開示していません。

アステラス製薬は、今回の提携により、グローバル・カテゴリー・リーダー（GCL）を目指すがん領域の創薬基盤が強化されることを期待します。

なお、今回の契約締結がアステラス製薬の業績に与える影響は軽微です。

以 上

アンブレックス社について

名称： Ambrx Inc.
設立： 2003年1月
最高経営責任者： Lawson Macartney
本社： カリフォルニア州ラホヤ
事業内容： 医薬品の研究開発